

1 単元名 情報化した社会とわたしたちの生活

2 目標

新聞のメディアとしての特徴を調べることを通して、様々なメディアが発信する情報の影響や情報の有効な活用の仕方について考え、生活に生かすことができる。

3 単元について

○児童の実態

児童は、「わたしたちの生活と食料生産」の学習で、自分たちの食料が日本各地から運ばれてきていることや、地形や気候を生かした各地の農業や水産業、運輸の働きを具体的に調べることを通して、我が国の食料生産を生産者と消費者という異なる立場で考えてきた。また、「わたしたちの生活と工業生産」でも、安全や環境など消費者としての自分たちの希望にこたえて、新しい自動車の開発がされていることを具体的に調べたり、考えたりにして、生産者と消費者の立場で工業生産が国民生活を支えていることを考えてきた。そして、このような生産者や消費者としての活動が様々な情報を通して行われ、つながっていることにも気付くことができた。

児童は、毎日の生活の中でスポーツなどの結果を知るにはテレビ、明日の天気を知るには地デジテレビのデータ機能、調べ学習にはインターネットなどと、様々なメディアを活用している。なかでも主な情報源はテレビである。また、学級の4分の1の児童は家庭では新聞を取っていないが、NIE実践校として、児童は日頃から新聞を手にとって読んだり、スピーチの材料に記事を活用したりして、新聞を1つの情報源として考えるようになった。また、新聞記事から情報を得るばかりでなく、それらをもとに考え、自分の視野を広げたり考えを深めたりできる児童も増えてきている。

○教材観

本単元では、様々な情報に囲まれた生活を見つめ、情報がどのように自分たちの生活に影響を与えているのか考え、情報に対して適切な判断をしたり望ましい行動をとったりしようとする力や態度を身に付けることをねらいとしている。

昨年3月には、東日本大震災があり、水戸市も被害を受けた。その中で、被害の状況やライフラインの復旧など、メディアのもたらす情報の大切さを児童も肌身で感じていた。日常生活でも、テレビ、ラジオ、新聞などの各メディアの情報を生かしている現状から、メディアやメディアの発する情報がどのような役割を果たしているのか、それぞれの特徴を比べさせ、情報と生活のかかわり、有効な活用などを考えさせていきたい。特に新聞は、テレビと比べて発信する側の立場や姿勢がはっきりと現れること、何度でも読み返すことができること、活字として記録に残ることなどの特徴をもっており、世論形成にも大きな影響を及ぼしている。また、インターネットや携帯電話の普及拡大やテレビの地デジ化が進む中、新聞の発行部数が減ってきているが、新聞の利便性にも気付かせながら、活字を通じた情報活用の大切さを考えさせていきたい。高度情報化社会を力強く生き抜いていけるよう、メディアや情報を必要に応じて選択し、情報を正しく判断して、冷静に行動できる力をもつ児童を育てていきたい。

○「かかわり」を重視した指導について

◇学習の対象とのかかわり

自分を取りまく情報の全体像を捉えるために、自分なりの「情報イメージマップ」を作成したり、自分や家族のメディアの利用の仕方を表にまとめたりする。メディアの中から新聞を取り上げて、情報がつくられ発信される過程を具体的に調べたり、新聞記事を読んで自分がどんな影響を受けるのかを考えたりすることから、情報を発信する側の責任と受ける側の判断の必要性を理解できるようにしていく。

◇学習者同士のかかわり

まず、単元の導入として自分だけでなく友達や家族の情報の活用の仕方について調べたことを発表し合い、情報社会の中で自分たちの現状について分かっていることを共有する。次に、情報について自分なりの考えを広げたり深めたりしていけるように、新聞社によって異なる新聞記事を比較しながら話し合いをしていく。単元のまとめでは、互いの意見を交流させながら「情報活用ナビ」を作成するようにする。また単元を通して、互いの「情報イメージマップ」を見比べながら交流し、自分の考えをみがいていく。

◇自分とのかかわり

情報を有効に活用したり正しい判断をしたりして情報社会で生活することの大切さを考えるために、調べたり考えたりしたことを単元の導入で作成した「情報イメージマップ」に書き加え、自分の変容を感じられるようにする。また、これからの高度情報化社会の中で、自分がどのように情報とかわかって生活していくかを「情報活用ナビ」の作成と話し合いを通して考えていけるようにする。さらに、自分の考えを「かかわりメモ」に書くことにより、情報についての考えをしっかりとまとめられるようにする。

4 「みえる」「わかる」子どもの姿

<p>わみかえるる</p>	<p>「わたしたちは、メディアや情報から大きな影響を受ける情報化社会に生活しているので、これからは必要な情報をじょうずに選んで、正しく判断して生活していきたい。」</p>												
<p>考える</p>	<p>わたしたちは、毎日の生活の中で、どのように情報を手に入れているのでしょうか。①</p>	<p>情報は、どのようにつくられ、どのような役割を果たしているのだろうか。②～⑤</p>	<p>わたしたちは、メディアとどのようにかかわっていけばいいのだろうか。⑥⑦⑧</p>										
<p>見える・分かる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎日のように、ニュースや天気などの情報を、テレビ、ラジオ、新聞、インターネットなど様々な方法で手に入れていること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ わたしたちは、テレビや新聞などの情報を生かして生活していること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新聞社は、取材・編集・発信などの役割を連携し、工夫して記事をつくっていること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新聞には、社会や人々の生活の様子を伝える重要な働きがあること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレビ、ラジオ、新聞、インターネットなど様々なメディアの特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報産業はそれぞれの考えによって様々な情報を発信していること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報の送り手は、情報を正しく、早く、分かりやすく伝える責任があること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報は、情報の背景や送り手の意図などを考えて活用すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報の内容をよく確かめて、冷静に判断して行動すること</li> </ul>				
<p>学習材</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報に関するイメージマップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ メディアごとの利用の仕方を調べたアンケート結果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地震数日後のラジオ放送の録音</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東日本大震災を伝える新聞記事（地方紙と全国紙）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 茨城新聞の記事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 茨城プレスセンターのビデオ映像</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新聞社で働く人のお話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新聞の発行部数の変化を示すグラフ</li> <li>○ メディア別の広告費の変化グラフ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高校野球について扱った各地方新聞記事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 風評被害の様子を示す写真</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 風評被害を報ずる記事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「情報活用ナビ」ワークシート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報に関するイメージマップ</li> </ul>

5 評価規準

<p>関心・意欲・態度</p>	<p>情報産業が発信する情報とわたしたちの生活とのかかわりに関心を持ち、わたしたちが情報入手、活用している様子や、情報産業がどのように情報を提供しているのかを意欲的に調べようとする。</p>
<p>思考・判断・表現</p>	<p>情報がわたしたちに及ぼす影響から、情報産業の果たす役割と責任や情報を受ける側の正しい判断の必要性について考え、適切に表現している。</p>

技能	新聞記事作りの過程や情報がわたしたちに及ぼす影響を、新聞社で働く人へのインタビューや各種資料から調べ、分かったことをまとめている。
知識・理解	いろいろなメディアの特徴や、情報産業の役割や責任の大きさと情報を受け取る側の正しい判断の必要性を理解している。

6 単元の指導と評価の計画（8時間）（①・②は時数、◇は評価）

<p>①</p>	<p>わたしたちは毎日の生活の中で、どのように情報を手に入れているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大地震の後、災害の様子や生活情報をラジオで知った。</li> <li>・テレビの映像で、大震災の被害の大きさが分かった。</li> <li>・テレビでニュースや天気予報を知ることが多い。</li> <li>・おとなは新聞やインターネットの利用が多い。</li> </ul>	<p>◇いろいろな情報産業とわたしたちの生活とのかかわりに関心を持ち、意欲的に調べようとしている。 (関心・意欲・態度)</p>
<p>○</p>	<p>イメージマップに表わしてみよう。</p>	
<p>○</p>	<p>情報はどのようにつくられて、どのような役割を果たしているのだろう。</p>	<p>◇情報に関心を持ち、学習課題をつくっている。 (思考・判断・表現)</p>
<p>② ③</p>	<p>新聞社では、どのように新聞をつくられているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞社では、どのような仕事の分担があるのだろうか。</li> <li>・どうやって情報を集めているんだろう。</li> </ul>	<p>◇新聞がつけられる過程について、資料やインタビューなどから調べたことを適切にまとめている。 (技能)</p>
<p>④</p>	<p>なぜ、新聞によってトップ記事や見出しがちがうのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校野球の見出しがちがうね。</li> <li>・情報には発信者の意図がはたらいている。</li> </ul>	<p>◇新聞は、発信された背景や送り手の意図があることなどを考えて、適切に表現している。 (思考・判断・表現)</p>
<p>⑤</p>	<p>様々なメディアはどんな特徴をもっているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットや携帯電話の利用が増えて、新聞の利用が減っている。</li> <li>・それぞれメディアには特徴やよさがある。</li> </ul>	<p>◇テレビ、新聞、インターネットなど様々なメディアの特徴が分かっている。 (知識・理解)</p>
<p>⑥</p>	<p>わたしたちは、メディアとどのようにかかわっていけばいいのだろうか。</p> <p>○ 「5の3 情報活用ナビ」をつくらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなメディアの特徴を生かす。</li> <li>・情報を判断したり活用したりする。</li> <li>・送り手の意図や情報の背景も考える。</li> </ul>	<p>◇わたしたちが情報から大きな影響を受けて生活していることや、情報を正しく活用することの重要性を考え、適切に表現している。 (思考・判断・表現)</p>
<p>⑦ (本時)</p>	<p>○ 「情報活用ナビ」をバージョンアップさせよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な情報かどうか考える。</li> </ul>	
<p>⑧</p>	<p>情報イメージマップを見直してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の始めのころと比べて、情報について知っていることが増えたね。</li> <li>・情報産業の役割と私たちの生活のかかわりが分かったよ。</li> <li>・学習したことを「マイ 情報活用ナビ」にまとめて、情報をじょうずに活用して生活していこう。</li> </ul>	<p>◇情報産業には役割と責任があり、わたしたちは情報を有効に活用することが大切であるとわかっている。 (知識・理解)</p>

## 7 本時の指導

- (1) 目標  
メディアからの情報を正しく判断して活用する大切さを考えることができる。
- (2) 授業づくりの課題  
風評被害について知り、自分たちが作った「情報活用ナビ」に足りない内容を話し合う活動を行えば、今後自分がどのように情報とかかわっていけばよいのか考えが深まるだろう。
- (3) 展開

学習活動・内容	児童への働きかけ・評価
<p>1 あるテレビ番組で放送されたまちがった情報を信じてしまったのはなぜか、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビで放送していたから本当だと思った。</li> <li>・テレビや新聞の情報はすべて正しいと信じていたよ。</li> <li>・まちがった情報なのに放送したテレビ局にも問題があるんじゃないかな。</li> </ul> <p>2 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「5の○情報活用ナビ」をバージョンアップさせよう。</p> </div> <p style="text-align: center;">《学習者同士のかかわり》</p> <p>3 「情報活用ナビ」をバージョンアップするための話し合いをする。</p> <p>(1) どんなことを「5の○情報活用ナビ」に書き加えたらいいか、意見を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何でもすぐには信じないようにする。</li> <li>・正しい情報かどうか、考えることも必要。</li> <li>・誰が発信しているのかも確かめたほうがいい。</li> <li>・きちんとした根拠がある話なのか、よく確かめるようにする。</li> <li>・いろいろなメディアの情報を比べるようにする。</li> <li>・正しい情報を発信してくれるようにメディアへのお願ひも書こうよ。</li> <li>・メディアには正確な情報を発信する責任があるよね。</li> </ul> <p>(2) みんなで出し合った意見の中から、どうしてもはずせないと思うものは何か話し合う。</p> <p>(3) 自分が書き加えたいと考えたことをカードに書いて、発表し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時で「5の○情報活用ナビ」を作ったことを振り返り、今後情報をうまく活用して生活していこうという意欲を高める。</li> <li>・「納豆ダイエット」捏造番組について知らせ、まちがった情報のために迷惑を受けたり、社会が混乱したりすることがあることに気付くようにする。</li> <li>・自分たちが作った「5の○情報活用ナビ」の内容は十分であるか問いかける。情報を判断して受け取る場面の配慮がないことに気付くことから、本時の課題をつかめるようにする。</li> </ul> <p style="text-align: center;">《学習者同士のかかわり》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書き加えたいことについて、自由に意見を出し合った後、意見を整理しながら構造的に板書するようにする。</li> <li>・書き加えることを思いつけない場合には、「納豆ダイエット」の情報をなぜ信じてしまったのかを振り返って考えるように助言する。</li> <li>・情報の受け手として自分たちが考えなければならない面だけでなく、情報の送り手側であるメディアにお願いしたい面も取り上げるようにする。</li> <li>・メディアへのお願ひが出ない場合には、受け手だけに責任があるのか疑問を投げかける。</li> <li>・話し合いを深めるために、自分の選んだ内容がなぜはずせないのか、理由を述べるように促す。</li> </ul> <p>④ 情報とのかかわりで大切なことを考え、情報活用ナビに書き加えたいことを書いて、発表したりしている。 (思考・判断・表現)</p>
<p>4 ゲストティーチャーの感想を聞く。</p> <p>5 本時の振り返りを「かかわりメモ」にまとめる。</p> <p style="text-align: center;">《学習者同士のかかわり》</p> <p>〈受け手として〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の発信源に気をつける。</li> <li>・正しい情報かどうかよく確かめる。</li> <li>・情報を得て、どのように行動するかはきちんと自分で判断するようにする。</li> </ul> <p>〈送り手(メディア)へのお願ひ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい情報を伝えてほしい。</li> <li>・本当に正確な情報になるように、よく確かめてから伝えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでゲストティーチャーでお世話になった新聞社の○○さんの感想をお聞きする。</li> <li>・書き加えることが困難な児童には、まちがった情報の被害にあわないためには、どうしたらよいか考えるよう助言する。</li> </ul>